

京都あぐい便い

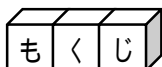


写真：和束町の茶畑



創刊号

近畿農政局地方参事官室
(京都府担当)
発行：平成29年7月28日



- P1 農業競争力強化プログラムの進捗状況と今後の対応、P2 「GAP」でより良い農業生産を！
P3 現場だより 丹後の自然の恵みいっぱいのブルーベリーファームガーデン空詩土
P4 京都府農業の現状、地方参事官室(京都府担当)からのお知らせ

農業競争力強化プログラムの進捗状況と今後の対応

農業競争力強化プログラム

(平成28年11月29日農林水産業・地域の活力創造本部)

農業の所得向上を図るため、農業者が自由に経営展開できる環境を整備するとともに、農業者の努力では、解決できない構造的な問題を解決していくことが必要です。
このため、生産から流通・加工、消費にわたる13項目の構造改革を進め、更なる農業の競争力強化を実現します。



これらの改革を着実に実現するため、以下の法律が本年の通常国会で成立

- ・農業競争力強化支援法（生産資材価格の引き下げ、流通・加工構造の改革）
- ・畜産経営の安定に関する法等の一部を改正する法律
- ・土地改良法等の一部を改正する法律（農地中間管理機構が貸借権等を取得した農用地については、土地所有者の負担なしに土地改良事業を行える）
- ・農業災害補償法の一部を改正する法律（収入保険制度の創設等）など

農業競争力強化支援法の成立を踏まえて

- 生産資材・流通に関する業界再編を推進
- 生産資材・流通に関する各種法制度（農薬取締法、卸売市場法）の見直しを推進
特に卸売市場法については抜本的に見直し
 - ・流通が多様化していること
 - ・卸売市場以外の流通には法規制がないこと
 - ・卸売市場のみが厳しい規制の下でシェアを低下させていること等
- 全農の自己改革案の実行をフォローアップ

その他の法についても、着実に改革を推進



「GAP」でより良い農業生産を！

GAPとは、農産物(食品)の安全を確保し、より良い農業生産をする取組！

- 農産物の生産で最も重要なことは、食品としての安全を確保することです。
- 生産者のみなさんは、**生産物の安全**を確保するための生産履歴の記帳を中心に、**環境の保全**、**労働の安全**を確保するための点検などを日頃より行っていることと思います。
- GAPとは、これらの取組状況を記録簿や掲示物によって確認・表示しながら、農産物(食品)の安全を確保し、より良い農業生産を実現する取組です。

GAPを実施すると経営改善に効果があります！！

GAP実施による経営改善効果

従業員の自主性の向上	70%
生産・販売計画の立てやすさ	46%
資材の不良在庫の削減	54%
品質(等級・規格)の向上	44%
販売先への信頼(営業のしやすさ)	56%

出典：「GAP導入による経営改善効果に関するアンケート調査結果」(H25.1(独)農業・食品産業技術総合研究機構)を基に農林水産省生産局農業環境対策課で作成

GAPに取り組みましょう

ステップ1：基本の整理整頓から！

みなさんがこれまでに組みこんできた**整理整頓**や、**生産履歴の記帳**が基本です。

ステップ2：チェック項目に従って、農場内を点検！

いつもやっていることですが、問題点を見つけたら改善していきましょう。

食品安全

<日頃の取組>
異物混入の防止、
農薬の適正使用と保管

環境保全

<日頃の取組>
適切な施肥、土壌浸食の防止、
廃棄物の適正処理・利用

労働安全

<日頃の取組>
機械・設備の点検・整備、
作業安全用の保護具の着用

人権保護

家族経営協定の締結、
技能実習生の作業条件遵守

農場経営管理

責任者の配置、教育訓練の実施、
内部点検の実施

その他

商品回収テストの実施、
資材仕入先の評価 など

認証が必要になったら次のステップへ！！

- ・取引先からの要求に応じたい
- ・東京オリンピック・パラリンピックに出したい
- ・輸出したい

認証を
取りましょう！！

詳しくはこちら(農林水産省HP) → <http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html>

現場だよ!

丹後の自然の恵みいっぱいのブルーベリー ソラシド ファームガーデン空詩土(京丹後市)

ブルーベリーを栽培し、ジャムや焼き菓子の販売、農園での摘み取り体験に取り組まれている**ファームガーデン空詩土ジャム工房**(京都府京丹後市)の**野村加奈子**さんにお話を伺いました。



農園を始めたきっかけは、**農業が大好き**で農業大学で学ぶ中、ブルーベリーに興味を持ち、自分で栽培したくなり、平成14年に就農しブルーベリー栽培をスタートしました。地元の丹後農業改良普及センターを介して、平成15年からは国営農地を1.3ha借りて規模拡大し、本格的に栽培に取り組みました。



現在では**20～30品種のブルーベリー1,600本**を栽培する農園となり、収穫量は毎年約1tで、収穫したブルーベリーは、生の果実を地元のケーキ屋さんへ販売するほか、自工房でジャムと焼き菓子をつくり、道の駅SANKAIKAN(サンカイカン)、丹後やさい館きちゃリーな、アミティ丹後等で販売しています。

～野村さんからの一言～

最初に植えたハイブッシュ系のブルーベリーは枯れてしまい、その後は**丹後の自然に合う種類を増やしていきまし**た。

また、7月下旬から8月いっぱいまで摘み取り体験を実施しています。お客様は地元の丹後の方が多く、中には**2回、3回と、リピーターになって来ていただく方**もおられ、うれしく思っています。

～将来に向けて～

ブルーベリーは夏だけなので、それ以外の時期に**ブルーベリー以外**のジャムを少しずつ作っていきたいと思っています。また、**学校給食にもブルーベリーを提供**できればと思っています。



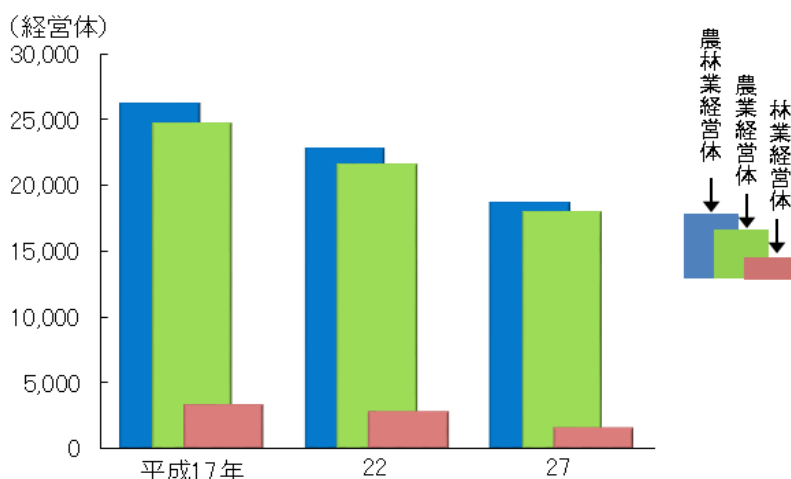


京都府農業の現状(グラフでみる2015農林業センサス)

～ 農林業経営体数 ～

京都府の農業経営体は、平成17年から、27年までの10年間で、27ポイント減少しています。

また、林業経営体は、52ポイントも減少しています。



区分	農林業経営体		農業経営体		林業経営体	
	実数	指数	実数	指数	実数	指数
平成17年	26,323	100	24,790	100	3,311	100
22年	22,890	87	21,678	87	2,785	84
27年	18,738	71	18,016	73	1,574	48

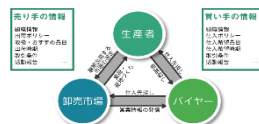
農林水産業流通マッチングナビ agreachのご紹介



農林水産物のマッチングシステムagreach(アグリーチ)がオープンしました！

agreachは、生産者・卸売業者・バイヤーがそれぞれの企業情報を登録し、互いに取引先となる企業を探索できる仕組みです。農林水産物の生産・流通に関わる事業者の販売先／仕入先の開拓にご活用ください。

Webサイト：<https://www.agreach.jp/>



刈払機(草刈機)の使用中的事故にご注意ください！

消費者庁には、刈払機を使用中に指を切断、骨折したなどの事故情報が平成21年9月から平成29年6月末までに計140件寄せられています。

刈払機には、鋭利な刈刃がついており、使用中は高速で回転するため、慎重に取り扱わないと指や脚などの骨折や切断などといった取り返しのつかない重篤なケガにつながる危険性があります。



刈払機(草刈機)の使用中的事故には十分にご注意ください！

暑い季節ですので、熱中症にもご注意ください！！ こまめな水分補給と休憩を！！

お問い合わせ先：近畿農政局地方参事官室(京都府担当)

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

TEL:075-414-9015 FAX:075-414-9057

HP:<http://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html>

